

開催日：12月25日(水)・26日(木) 指定練習日12月24日(火)

開催コース：一の宮カントリー倶楽部 西コース

本競技は日本ゴルフ協会発行のゴルフ規則とこのローカルルールと競技の条件を適用する。

本書に記載の無い事項や追加変更がある場合は競技規定やプレーヤーへの通知文書、または競技会場での掲示物に掲載されるので必ず参照すること。

ゴルフ規則によって別に定められている場合や本書に罰が記載されている場合を除き、このローカルルールと競技の条件の違反の罰は、「一般の罰(2 罰打)」となる。

ローカルルール

1. アウトオブバウンズ(規則 18.2)

アウトオブバウンズは白杭のコース側を地表レベルで結んだ線によって定められる。

2. ペナルティーエリア(規則 17)

(a)片側だけ定められているペナルティーエリアは無限に及ぶ。

(b)ペナルティーエリアの縁がアウトオブバウンズの境界線まで及んでいる場合、そのペナルティーエリアの縁はそのアウトオブバウンズの境界線と一致する。

3. 異常なコース状態(動かさない障害物を含む)(規則 16)

(a) 修理地

(1) 青杭を立て、白線で囲まれた区域。

(2) グリーンの前後を含み、フェアウェイの芝の長さかそれ以下の区域にあるヤーデージマーキングペイント(スタンスへの障害は除く)。

(3) 東コース5番ホールティーイングエリア周辺にある修理地の中に球があったりスタンスや意図するスイングの区域の妨げになる場合、プレーヤーは次のことができる：

- 規則 16.1 に基づき罰なしの救済を受ける。または、
- 追加の選択肢として、元の球か別の球をドロップゾーンにドロップすることによって罰なしの救済を受ける。このドロップゾーンは規則 14.3 に基づく救済エリアである。

(b) 動かさない障害物

(1) 排水溝、黄黒の縞杭(本競技には適用しない)、投光器。

(2) 小砂利、ウッドチップ、松葉などを使用して舗装した区域。
(小砂利やウッドチップなどの個体はルースインペディメントである。)

(3) 人工の表面を持つ道路に接している枕木や丸太は、その道路の一部とみなす。

(4) 動かさない障害物と白線でつながれている区域は、その動かさない障害物の一部として扱われる。

4. プレー禁止区域

電磁誘導カート用の 2 本のレール(白線でつながれている区域を含む)は、全幅をもってプレー禁止区域であり、異常なコース状態として扱われる。規則 16.1f に基づき、そのプレー禁止区域による障害からの罰なしの救済を受けなければならない。ただし、スタンスにだけ障害となる場合は、そのままプレーすることもできる。

5. 不可分な物

以下の物は不可分な物であり、無罰の救済は認められない。

(a) 樹木やその他の恒久的な物件に巻きつけたり、密着させてあるもの。

(b) ペナルティーエリア内にある人工の壁や杭でできた構造物。

6. クラブと球の規格

(a) ストロークを行うために使うドライバーは R&A が発行する最新の適合ドライバーヘッドリストに掲載されているクラブヘッド(モデルとロフトで識別される)を持つものでなければならない。

(b) ストロークを行うときに使用する球は R&A が発行する最新の適合球リストに掲載されていなければならない。

このローカルルールの違反に対する罰: 失格

7. ゴルフシューズ

ラウンド中、プレーヤーは下記の特徴を持つシューズを履いてはならない：

伝統的なスパイクすなわち、地面を深く貫くようにデザインされた 1 つあるいは複数の鋳を有するスパイク(メタル製、セラミック製、プラスチック製、その他の材質かは問わない)。

このローカルルールの違反に対する罰: 規則 4.3 参照

8. プレーの中断と再開(規則 5.7)

(a) 即時中断(落雷・Jアラート等、切迫した危険がある場合)

委員会がプレーの即時中断を宣言した場合、すべてのプレーヤーは直ちにプレーを止めなければならない、委員会がプレーを再開するまでは別のストロークを行ってはならない。

このローカルルールの違反に対する罰: 失格

即時中断中は、委員会がオープンと宣言するまで、すべての練習施設はクローズとなる。クローズとなった練習施設で練習しているプレーヤーは練習を止めるように要請される。その要請に従わなかった場合、失格とすることがある。

(b) 通常の中断(日没やコースがプレー不能) 規則 5.7b,c,d に従って処置すること。

(c) プレーの中断と再開の合図

通常プレーの中断:短いサイレンを繰り返して通報する。

険悪な気象状況による即時中断:1回の長いサイレンを鳴らして通報する。

プレーの再開:1回の長いサイレンを鳴らして通報する。と同時に、本部より競技委員を通じてプレーヤーに連絡する。

9. 練習

(a) ホールとホールの間、プレーヤーは次のことをしてはならない。

終了したばかりのグリーンやその近くで練習ストロークを行う。または、終了したばかりのグリーンの表面をこすったり、球を転がすことによってグリーン面をテストする。

(b) プレーヤーはラウンドとラウンドの間にコース上で練習してはならない。このローカルルールの違反に対する罰:

最初の違反の罰 :一般の罰(プレーヤーの最初のホールに適用される)

2回目の違反の罰 :失格

10. 移動

ラウンド中、プレーヤーは動力付きの移動機器に乗り移動してはならない。ただし、委員会が承認する場合や、事後承認した場合を除く。ストロークと距離の罰に基づいてプレーする(あるいはプレーした)プレーヤーは常に動力付きの移動機器に乗り移動することが承認される。

このローカルルールの違反に対する罰:違反があった各ホールに対して一般の罰を受ける。違反がプレーするホールとホールの間で起きた場合、罰は次のホールに適用する。

競技の条件

1. 参加資格

プレーヤーは「競技規定」で定められる参加資格を満たしていなければならない。

2. スコアカードの提出

スコアリングエリア方式を採用する(プレーヤーの両足がエリアから出た時点をもって提出されたものとみなす)。

3. 競技終了時点

競技委員長の成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。

競技委員長

距離表 一の宮カントリー倶楽部 西コース (男子) 使用ティーマーカーは青色とする

HOLE NO	1	2	3	4	5	6	7	8	9	OUT	
YARDS	416	524	399	178	380	173	331	493	368	3262	
PAR	4	5	4	3	4	3	4	5	4	36	
HOLE NO	10	11	12	13	14	15	16	17	18	IN	TOTAL
YARDS	337	339	404	155	451	406	175	392	600	3259	6521
PAR	4	4	4	3	4	4	3	4	5	35	71